

全苗連だより

Vol. 3 (11月号)

平成26年11月10日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

今年もコンテナ苗の成果発表会を仙台市で開催します

コンテナ苗の研修会は、森林管理局等が全国各地でも開催しました。

コンテナ苗は、出荷までの生産期間が短く、植栽時期を選ばず、簡易な地拵えによる植栽が可能で、活着率も高いことから、国有林においては率先して導入を進めており、生産者にとっても作業の効率化・労働負荷の軽減が期待できることから関心がますます高まっています。

宮城県苗組、宮城県森連、全苗連の主催によるコンテナ苗の成果発表会を今年も11月27日(木)に宮城県仙台市の「パレス平安」で開催します。

発表会の内容は、①キャビリティコンテナへの培地詰めから出荷方法に至るまでの生産技術について、現状では生産者間でバラツキもあり、より確実な生産方法の発表とこれに対する意見交換、②コンテナ苗を植栽した試験地における活着率、初期生長量・根系生長の追跡調査、普通苗との植栽時間や造林コスト等の比較などについての調査内容の発表となっており、翌日の28日(金)は、2グループに分かれて、コンテナ苗の造林試験地を視察する予定です。

この成果発表会は、平成21年から毎年継続して開催しており、全国の苗木生産者をはじめ、林野庁、森林管理局・署、森林総研・林木育種センター・森林農地整備センター、都道府県の担当者及び研究機関、関係団体等から毎年100名以上の方が参加しています。



また、コンテナ苗については、森林管理局・署、道県、試験研究機関等が主催し、全国各地で様々な研修会・勉強会等が開催されています。マスコミなどで報道されたものを紹介します。

【北海道】 昨年は中富良野町と北見市でコンテナ苗の普及と実用化に向けた勉強会・検討会が北海道森林管理局の主催で開催され、今年も、9月26日下川町の町有林でコンテナ苗と先進林業機械を駆使して低コスト化を図る「伐採・造林一貫作業システム」の現地検討会が森林総研・下川町などの共催で開催され、実行結果はデータ分析されることになっています。

【東北】 9月18日に青森県大鰐町の国有林で、9月19日に青森県蟹田町の国有林で、10月3日に岩手県八幡平市の国有林で、10月8日に秋田県鹿角市の国有林で、地元森林管理署が主催し、コンテナ苗と普通苗の生育比較調査の説明、コンテナ苗の植栽体験等の現地検討会が開催され、苗木生産者、林業事業者など関係者多数が参加しました。

【関東】 昨年に続き、7月29日に茨城県城里町の国有林で、「コンテナ苗を活用した一貫作業システム現地検討会」が森林技術・支援センターと森林管理署の主催で開催され、チェンソー伐倒・グラブ集材と同時に地拵え処理し、コンテナ苗をフォワーダで運搬し植栽する一貫作業システムのデモンストレーションを行い、関係機関による取組報告と参加者による意見交換が行われました。

【中部・東海】 4月23日に岐阜県下呂市の国有林で、5月27日に長野県大桑村の国有林で、ヒノキコンテナ苗等の新植箇所の現地見学会が行われました。10月28日には、静岡県浜松市天竜区の国有林において、コンテナ苗を活用した「架線系一貫作業システム実証試験」の現地検討会とシンポジウムが森林管理局・署、静岡県森林・林業技術センター、森林総研の主催で行われました。一貫作業システムを導入する現場は増えていますが、急傾斜地の架線集材作業で実施するのは全国でも先駆的な試みであり、約270名が参加しました。

【近畿中国】 10月9・10日の両日、岡山県新見市の国有林で、実生ヒノキコンテナ苗の普及を目指し、コンテナ苗を使った一貫作業システムとシカ被害対策について、試験地の状況を確認しながら現地検討会が森林管理局主催で行われました。

【四国】 8月26日徳島県立農林水産総合技術支援センター主催の「コンテナ苗育苗技術意見交換会」が同センターで開催され、国有林、県、研究機関、苗木生産者など関係者多数が参加しました。

【九州】 九州森林管理局は7月24・25日の両日、コンテナ苗の供給調整会議と技術向上検討会を開催しました。同局では、平成22年から4年間でコンテナ苗を約55万本植栽しており、今後も主伐・再造林の推進に伴ってコンテナ苗の需要が増える見込まれ、コンテナ苗の生産拡大と安定供給に向けて、関係者が一堂に会し、情報を共有できる機会をつくるとともに、コンテナ苗生産の最新技術や今後の課題、コンテナ苗植栽試験地の状況等について、意見交換しました。

平成26年度の地区別需給調整協議会が順次開催されます

地区別の林業用種苗需給調整協議会は、林業用種苗の需要と供給の安定化を図り、造林関係事業の円滑な実施を期して毎年開催されておりますが、平成26年度も10月29日広島市で開催された中国地区需給調整協議会を皮きりに各地区で順次開催されます。

既に開催された中国地区需給調整協議会では、関係者35名が参加し、全体会議のほか、行政分科会、種苗組合分科会、森林組合分科会の3つの分科会に分かれ、コンテナ苗の生産・供給体制、林業用種子・穂木の確保等について活発な議論が行われました。

需給調整協議会における需給状況については、例年どおり今年も、全苗連事務局で全国のデータをとりまとめ、都道府県苗組にお伝えすることとしております。

全苗連・苗組の行事予定

- 11月13日 北海道・東北地区種苗需給調整協議会(盛岡地域交流センター)
- 11月18日 全苗連関東地区協議会(さいたま商工会議所会館)
- 11月18日 東海・北陸地区林業用種苗需給調整協議会(福井市地域交流プラザ)
- 11月20日 九州地区林業用種苗需給調整協議会(長崎県交通産業会館)
- 11月21日 九州苗連協議会総会(ホテルセントヒル長崎)
- 11月26日 近畿地区林業用優良種苗需給調整協議会(大阪府庁咲洲庁舎)
- 11月27日 コンテナ苗木生産技術・低コスト造林試験地成果発表会(仙台市パレス平安)
- 11月28日 同成果発表会の現地検討会(Aコース宮城県蔵王町・Bコース東松島市)
- 12月15日 四国地区林業用種苗需給調整協議会(愛媛県庁第一別館)・翌日16日は現地研修会

